

ハウリー

1 月号
2018.10
ふりー

3

おっ！こぶたちゃんは
無落雪屋根の家を
たてたんだね。

雪が落ちない
あたたかい
おうちだよ。

1

おじいちゃんは木の家を
たてたんだね。

とってもいい
おうちだよ。

4

みんな！これからはあたたかくて
エネルギーをあまり使わない
家がたてられるよ。

\\すごーい!!\\

2

お父さんはブロックの家を
たてたんだね。

三角屋根の
かっこいい
おうちだよ。



こんにちは！マスコットキャラクターの「ハウリー」です。
裏表紙のプロフィールも見てください♪▶▶▶

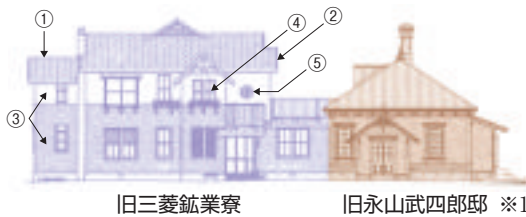
CENTER REPORT 206 秋号

フリーペーパー『ハウリー』は、北海道建築指導センターが1968年から発行している
季刊誌『センターレポート』の秋号として発行されるものです。



旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮

見どころ・感じどころ



旧三菱鉱業寮

旧永山武四郎邸 ※1

● 旧永山武四郎邸（北海道指定有形文化財）

- ・ 明治10年代前半、屯田事務局長の永山武四郎が私邸として建築。
- ・ 明治前半期の北海道の和洋折衷上流住宅の好例。
- ・ 1階の洋風応接室。引き戸を開けると付け書院等を構えた表座敷が続く。



旧永山邸応接室と表座敷 ※2

● 旧三菱鉱業寮

- ・ 昭和12年に建築。高い産業・文化史的価値を有する。
- ・ ①副次翼屋、②ハーフトンパー（木骨造）、③左官壁と下見板張りの外壁、④上げ下げ窓、⑤丸窓など、昭和前期のモダンな洋館デザイン。

●札幌市中央区北2条東6丁目 TEL：011-232-0450
 開館時間：9時～22時 定休日：第2水曜日、年末年始
 入館料：無料

そこに身を置き 時空を超えて対話する

風雪に耐え時を刻んだ建築物には、風格があり、心安らぐ温もりがあります。歴史的建造物の調査や改修修復に携わってきた角 幸博さんに、その魅力を後世へ引き継ぎ、守り活用していく使命感を語っていただきました。

地域の人に親しまれ 活用されてこそ宝に

——旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮が、今年6月23日にリニューアル



NPO 法人歴史的・地域資産研究機構
かど ゆきひろ
 代表理事 角 幸博 さん
 (北海道大学名誉教授)

活躍が期待される「れきけん」

北海道内の学術研究者、専門家、保存活用団体のネットワーク化、および歴史的・地域資産の調査・評価、改修修復工事への助言や専門的判断など、まちづくりや地域づくりに寄与することを目的に、専門的な相談窓口として、2012年にNPO法人歴史的・地域資産研究機構（略称：れきけん）が設立。歴史的・地域資産の施設管理運営への助言なども行っている。

●札幌市中央区北4条西4丁目 加森ビル3 3階
 TEL：090-3468-3741（事務局）URL：http://nporekiken.com

オープンしました。長年、同館の保存・活用に取り組んでこられただけに感慨もひとしおなのは、角 そうですね。7月末までに入場者数1万人を超え、その数の大きさに驚いています。

——この建物の歴史的・建築的価値を教えてください。

角 最大の特徴は、明治の屯田兵のトップの質実剛健な私邸と昭和前期のモダンな洋館とが連携しているところです。外観・内観とも、見どころ豊富。館内「れきしの部屋」で、詳しく紹介しています。ギャラリー



▲旧花田家番屋（留萌郡小平町）。1905（明治38）年ごろ、網元であった花田家によって建てられた2階建ての家屋。1971年に国の重要文化財に指定され、現在は一般公開されている。※3



◀1971年夏の外観。※4

や図書室、それから喫茶店や貸室も備わっていますから、いろんなかたちで活用されることを願っています。

——入館料無料というのも魅力です。

角 改修以前は札幌市が管理し、そのときも入館無料でした。近所の子どもたちがよく遊びに来ていて、旧永山邸の脇座敷で宿題をやっている子どももいたそうです。そういう空間・精神の継承が、今回の改修のコンセプトでした。若い方も年配の方も、構えず気軽に立ち寄ってみてください。

いにしへの生活を体感
歴史に思いをはせる

——歴史的建造物の調査・保存に携わるなかで、特に印象深い建物は？

角 日本海沿岸の漁家ぎよかの調査がきっかけでこの道に入りましたから、やはり旧花田家番屋ですね。初めて訪ねた1971年春、骨組みはしっかりしているものの屋根の一部が崩れ落ちた家に、高齢の方々が住んでおられました。傷んでいても歴史的な

建物には生命力があり魂が宿っていると感じました。

——函館区旧公会堂や豊平館（札幌市）もそう。網走刑務所の明治時代の古建築群も貴重なもので、博物館網走監獄として保存公開されています。

——歴史的建造物との接し方は？

角 現代の感覚では、みずばらしく、寒そうに見える建物も、積雪寒冷を克服しようというチャレンジ精神が随所に息づいています。美しさもさることながら、一番感じてほしいのは、そこに暮らしていた人たちの「生活」です。建造物との出会いを機に、歴史や文化の変遷に思いをはせるとおもしろみが増すはずですよ。



博物館網走監獄の舎房及び中央見張所（網走市）。五翼放射状房と呼ばれる。1912（明治45）年に建築、1985年に移築。2016年に庁舎などと共に国の重要文化財に指定された。※5

図・写真提供：※1 札幌市、※2 ノーザンクロス、※3・※4 角 幸博、※5 博物館網走監獄

懐かしさと新しさが融合、和洋折衷喫茶ナガヤマレスト



●札幌市中央区北2条東6丁目
TEL：011-215-1559
営業：11時～22時 定休日：第2水曜日

2018年6月、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮内にオープン。同館の和洋折衷のテイストを店内インテリアに反映し、趣のある空間を生んでいる。

懐かしい洋食と今風の料理の融合をテーマに、永山邸カレー（980円）をはじめ、オリジナリティー豊かなメニューをラインアップ。各種ドリ

nk、パフェは、テイクアウトOK。永山記念公園に面したテラスや公園内で植物をめでつつ味わうコーヒーやソフトクリームは格別。

22時までオープン（LO：21時）しているので、勤め帰りに立ち寄りビールやワインが楽しめる。サッポロファクトリー・アトリウム東側出口からすぐとあって、観光客にも人気。

あつたかい住まいを求めて 集い、考え、建て、 育てていく

2018年は本道が「北海道」と命名されてから150年目。その間、北海道の住まいは、雪や寒さに耐え得るために技術を上させながら様々な空間づくりを可能にしてきました。北海道の住まいの歴史は、暖かい住まいへの願望とその実現にありましたが、日本全国の住宅の歴史のなかで見ると特異です。その一端を紹介します。

ストーブ導入で 防寒住宅が誕生

北海道の住まいは、地面を掘り込んで土間を生活面とする蓄熱性が高い竪穴式住居を起源とし、それを継承したのがアイヌの住まい「チセ」です。北海道開拓が本格化した明治期は、本州から大勢入植し、彼らの出身地の伝統的な様式である高床開放型の住まいが持ち込まれました。

この開放型の住まいは、北海道の冬季寒冷な気候条件に合わず、大正期には薪まきストーブ、石炭ストーブ、

ガラス窓や洋風の出窓などの洋風様式が導入されました。特にストーブの出現は、薪や石炭を燃やすことで寒さをしのぐことができ、「冬ふゆ季節、



写真1 戦前期の生活の様子
出典：住宅年報 北海道1945-1954
(北海道建築部住宅課、昭和30年)

寒地住宅を研究・開発 独特のまち並みを形成

ストーブ設置室に家族全体が集合して、就寝時以外はこの部屋で終日過ごす」という住まい方を生み出すなど、住生活のあり方に影響を与えました(写真1)。

戦後、北海道初の民選知事である田中敏文氏が「北方生活文化の確立」を提唱し、これにより積雪寒冷地域の気候風土に合った寒地住宅の建設が推進されました。

寒地住宅の建設・普及にあたり、研究機関や北海道庁などが研究・開



写真2 三角屋根CB造住宅団地
出典：北海道の建築1963-1974
(日本建築学会北海道支部、昭和50年)

発し、1953年には「北海道防寒住宅建設等促進法(通称・寒住法)」が制定され、北海道の住まいのなかで最高傑作と言われている「三角屋根コンクリートブロック造住宅(三角屋根CB造住宅)」が開発されました(写真2)。

三角屋根CB造住宅は、耐火建築物の促進に伴い、北海道の木材資源の保全と地元の材料の火山灰・火山礫れきを有効的に活用するためにコンクリートブロックを活用し、産・官・学の協働により開発された代表的な住まいで、1955年ごろから全道の主要都市に供給されました。

しかし、断熱・気密性能が低かつ

たために、結露や玄関・浴室・2階が寒いという問題があり、その解決が大きな課題となりました。

1960年代〜70年代にかけて、高断熱・高気密性能を持つ様々な材料・技術が開発されました。断

熱材では、グラスウールや発泡プラスチック系などが開発され、壁などに隙間なく入れる技術も普及しました。

また、複層ガラスのプラスチック窓が開発され、暖房方法も改良され、次第に省エネルギーな住宅の開発に力が注がれました。

同じ頃、屋根葺き材として長尺鉄板の普及、および敷地の狭小化による屋根雪処理への対応に伴う数種類の勾配を持つ複雑な屋根傾斜の住まいと無落雪屋根の住まいが出現し、それらが入り混じったまち並みがつくられ、本州では見られない独特の景観が形成されていきました。

北方型住宅が誕生 性能・品質確保も

1990年ごろ、21世紀に向けた北海道らしい、気候風土に適した質の高い総合的な住まいづくりを目指す「北方型住宅」が開発されました。断熱・気密の性能基準が設定され、より快適で省エネルギー化された高断熱高気密化住宅が実現したのです。

北方型住宅は断熱や気密の性能だけでなく、安全性や耐久性、景観やまち並み計画など、多様で総合的な

基準もつくられました。

2014年には、この北方型住宅をもとに新たな仕組みとして、住宅履歴保管の充実や性能のみえる化など、安心で良質な家づくりである「きた住まい」がスタートしています。

このように北海道の住まいは、「あったかい住まい」を求め、性能・技術面で大きな変革を遂げてきました。今日では、住まいのどこにいても寒くなく、結露などに煩わされることのない、暖かい快適な温熱環境が定着しています。これは北海道の誇るべきものと言っても過言ではないでしょう。

これからの北海道の住まいは、「文化として住宅をどのようにしてつくり上げていくか」です。例えば、北海道の自然環境を享受し、人ともろもろの関係が誘発され育まれる住まいづくりが必要です。

文／谷口 尚弘

(北海道科学大学教授)

森 傑

(北海道大学院教授)

※詳細は、「みんなで30年を考えようー北海道の生活と住まいー」(30年後の住まいを考える会、中西出版、2014年発行を参照ください)。



住宅展示場：南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジ
(写真提供：北海道)

=住宅相談・ハウツー講座=

ハウリーが質問します！



住宅リフォームに関するハウリーの質問に、
指導センターの住宅相談員が
わかりやすく答えます。



Q リフォームをしたいけれど、
からはじめたらいいの？

A リフォームにも手順があつて、
このとおり進めることを
おすすめします。

1. 要望や条件の整理、住ま
いの点検、情報の収集
2. 業者の選定
3. 見積もり依頼と業者の決定
4. 契約
5. 工事の実施
6. 工事了了

Q よいリフォーム業者は、どう
選べばいいの？

A 業者まかせにしないで、建て主
(発注者)も、リフォームの知
識を持ちましよう。留意点は…
・複数の業者から選定。
・施工能力(実績・専門知識・建物
調査・アフターサービス・保証)。
・提案力(適切な提案・わかりやす
い説明・最新の情報・予算に配慮)。

・コミュニケーション(信頼・
相性・時間、約束の厳守・十
分な打ち合わせ)。
・図面、見積書、契約書の重要
性を把握すること。
・断る時は、早く、はっきりと
伝えること。

Q 屋根や外壁の張り替え時期、
塗り替え時期の判断目安は？

A 築年数、これまでの改修履
歴、材料、写真をそろえて、
専門家に相談するとよいで
す。そのわけは…

- ・築年数により、当時の工法や
仕様がわかります。
- ・環境により、屋根や外壁の傷
み方が異なります。
- ・これまでの維持管理により、
劣化度が異なります。
- ・屋根材や外壁材の選定方法や、
大まかな費用がわかります。



Q リフォーム業者とトラブルに…
解決する方法は？

A 当事者同士、話し合いで解決す
るのが望ましいです。留意点は…
・一人で解決しようとせず、家族
や専門家に相談しましょう。
・トラブルの内容によっては、そ
の分野の専門家に入ってもら
う方法もあります。
・図面・見積書・契約書をそろえ
ましょう。これら書類が不備の
場合、何を約束したのかわから
ず解決にも時間がかかります。

※リフォームや維持管理に関する資
料本を無料配布しています。
詳しくは、指導センターへお尋ね
ください。



戸建て住宅維持管理
ガイドブック
「住まいの健康、
チェックしてますか？」



北海道の住まいの
リフォームガイドブック

お い で よ

無料相談窓口

身近で便利な
相談窓口



住 宅 相 談 室

住宅のことや住まい方に関するさまざまな相談に、一級建築士の資格を持つベテラン相談員が親身になってお答えします。
トラブルを避けるためにも、ぜひ住宅相談室にお越しください。

相談員紹介 【札幌】奈良 顕子、山本 明恵、早川 陽子、東 道尾、松井 司郎
【旭川】宮原 進



こんな相談にお答えしています。

- ・新築住宅を建てたいので、図面、見積書、契約書の内容を一緒に確認してもらえますか？
- ・暖かい家にリフォームしたいけれど、どんなことに注意するといいですか？ 見積り額の金額は妥当ですか？
- ・マンションの北側の部屋の結露がひどくて困っています。
- ・中古住宅を購入したいので注意点と、現況調査(インスペクション)について、教えてください。
- ・地震でできた基礎のひび割れは、どうしたらいいですか？

一般住宅相談（面談・電話）：月～金曜日

法律相談（面談のみ）：毎月第2・4火曜日

- ・全道の相談窓口(札幌市)：TEL.011-222-6070
相談時間：9時30分～16時(1回の相談は30分程度)
- ・地域の相談窓口(旭川市)：TEL.0166-22-8894
相談時間：10時～16時

- ・法律相談窓口(札幌市)：TEL.011-241-1893
相談時間：13時～16時
- ・法律相談は、札幌弁護士会の派遣弁護士が担当
- ・**要事前予約**

一般住宅相談、法律相談ともに土・日・祝日・夏季休業日・年末年始はお休みです。

「住宅講座」無料開講！ =札幌で年4回開催=

開催日	テーマ
平成30年 5月29日	「シニア世代のリフォームのヒント」 暮らし方からの発想…これからもこの家で安心して暮らせるように
7月24日	「屋根、外壁、断熱のリフォーム」 計画的な点検・手入れで省エネ長持ちの家
11月30日	「リフォームをする前に必要な3つのポイント」 業者選び、見積書、契約
平成31年 1月25日	(仮称)「耐震、断熱リフォーム」 地震に強く、そして省エネで暖かい家

耳寄りの情報がいっぱい。オリジナル資料ももらえるよ！申し込み方法など、詳しくはホームページを見てね。



このマーク見たことある？



(一財)日本建築設備・昇降機センター制定

これは「昇降機等定期検査報告済証マーク」だよ。
 指導センターを通して定期報告をしたエレベーターなどには、このマークがはってあるんだ。
 金色の矢印のマークだよ。
 マがしてみてね。



定期検査報告制度

建築基準法に基づいた制度です。多くの方が利用しているエレベーターなどの安全のため、所有者は、常時適法な状態に維持するよう努めなければなりません。そのため年1回、資格者に検査をさせて、その結果を特定行政庁に報告するよう義務づけられています。

ハウリーはエゾリスの女の子です。

人間の世界が大好きなエゾリスの「ハウリー」は、ポシェット型のきのこの家に住むおおむしの「ビル」といつも一緒。北海道の住まいや建物に興味津々の「ハウリー」と、暮らしや建築に関する知識が豊富な「ビル」の2ひきが、北海道の建物の魅力を伝えて、一緒に住まいを考えるお手伝いをします。



ハウリー紹介

- エゾリス(女の子)
- 年齢 / 人間でいうところの10歳
- 住まい / 人間の町がみえる桜の森
- 性格 / 好奇心旺盛の知りたがり。ちょっとだけ食いしん坊なところも。
- 好きなこと / 人間の暮らしを覗くこと。知ること。

桜の森から見える人間の暮らしぶりにいつも興味津々。ハウリーは、仲良しのビルとおしゃべりしながら人間の暮らしや建物について毎日たくさんの理解や知識を深めています。桜の森で育ったため、体がピンク色に染まりました。

ビル紹介

- おおむし(男の子)
- 年齢 / 人間でいうところの15歳
- 住まい / きのこの家
- 性格 / しっかり者で責任感がある。ハウリーの好奇心の強さにハラハラすることも。将来の夢のため計画的に貯蓄している。
- 好きなこと / モデルハウス巡り

昔、人間の町に住んでいたこともあり、人間の暮らしや建物の情報に詳しい頼れるおにいさん。ステキなきのこの家に住んでいて、ハウリーにいろんなことを教えてくれます。夢はいつかきのごマンションを作ることです。

一般財団法人 北海道建築指導センター

〒060-0003
 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル8階
<https://www.hokkaido-ksc.or.jp>

代表 TEL.011-241-1893
 FAX.011-232-2870

住宅相談 TEL.011-222-6070

旭川支所 TEL.0166-22-8894
 〒070-0039

旭川市9条通12丁目 ハタケヤマビル6階



交通機関

JR札幌駅から歩いて5分
 地下鉄南北線さっぽろ駅から歩いて3分

